

# 医療・介護分野におけるデータ分析の現状と政策的課題

菅原琢磨

国立保健医療科学院 経営科学部 サービス評価室長

## Abstract

少子高齢社会の本格到来を前に、我が国の医療、介護分野に対する社会的関心はかつてないほど高いものがある。少子高齢化という人口(学)的要因の一方、保険財政の逼迫という財政運営上の困難も伴い、医療、介護サービスにかかる制度設計は、特に効率性の観点から近年、大幅な見直しがなされている。このような見直しにあたっては、医療、介護分野で蓄積された様々なデータの活用と Evidence の提示が重要であるが、その社会的重要性に比してその成果は未だ質・量ともに十分とは言えない現状にある。本報告では、主として蓄積されている大規模な Micro level Data の活用を促す観点から、「医療、介護分野でどのようなデータが蓄積されており、いかに活用されているか」、「大規模データを活用した研究の例示」、「医療、介護分野における目下の政策課題と必要とされる研究の方向性」といった点を中心に概説する予定である。